第１８回赤磐市小学生ドッジボール大会　開催要項

１　日　　時　　令和５年１１月１１日（土）

２　会　　場　　山陽ふれあい公園　総合体育館

試合会場：メインアリーナ（３面）、練習会場：フィットネスアリーナ

３　日　　程　　12：30　受付

13：10　開会式

13：40　競技開始

16：30　表彰式（予定）

４　主　　催　　赤磐市教育委員会

赤磐市スポーツ推進委員会

５　チーム編成　　チーム７人以上１０人以内（競技者７人と交代競技者）

①３～４年生の部

②５～６年生の部

※チーム編成にあたり、７人以上のチーム編成が困難な場合に限り、

下の学年の編入を認める。ただし、事務局まで事前に申し出ること。

６　試合時間　　５分間

７　試合方法

①ゲーム開始時は、内野（４人）と外野（３人）に分かれてコートに入ります。
アウトプレイヤーについては、養生テープの有無で見分けます。
②ゲーム開始は、センタージャンプで行います。
③相手チームのプレイヤーにボールを当て（アウトにする）、制限時間内に一方のチームが全員いなくなるまで行うか、終了時点での内野の残人数で競います。
④ボールは、ドッジボール試合球（３号球）を使用します。

８　プレー上の動作と反則

①指定エリアでプレーしなければ相手ボールになります。

②ボールを投げるときや投げた後、又は取るときにラインを踏んだり超えたりしてはいけません。相手チームの内野ボールになります。

③外野エリアから外へ出たボールは、最後に触れたプレイヤーの相手チームの内野ボールになります。

④内野でアウトになったプレイヤーは、養生テープをはずし審判に渡し外野に出ます。

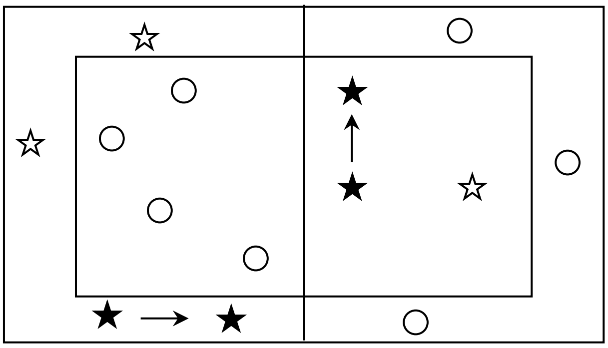
⑤ゲーム開始時の外野は内野に入ることができます（移動は、内野がアウトになったときに行います）。

⑥アウトプレイヤーは、外野で相手プレイヤーをアウトにしても、内野に入ること（内野復帰）はできません。

⑦味方の内野同士、外野同士による「手渡しパス」は禁止です。＜図参照＞

⑧内野と外野による「長いパスまわし」（制限時間３０秒）は禁止です。

⑨相手の顔や頭を攻撃してはいけません。当たった選手はセーフです。



★のようなプレーをしてはいけません。

⑩１回のノーバウンドの投球で２名以上あたった場合は、全員アウトになります。

⑪メンバーチェンジは、１試合中３人までとしゲームの流れがとまっているときを見計らって、監督が審判に要求し行います。

⑫センタージャンプした直後の選手を攻撃してはいけません。

⑬相手エリアにあるボールをとってはいけません。

９　組 合 せ

〇部門ごとにリーグ戦方式を採用します。（組合せは大会事務局が抽選し決定します）

〇決勝トーナメントは各部門の上位チームで行います。

※参加チーム数によりトーナメント戦方式のみの部門ができる場合があります。

※参加チーム数によりリーグ方式のみ（決勝トーナメントなし）の部門ができる場合があります

１０　勝　　敗

〇予選順位は、勝ち点（勝ち　２点、引き分け　１点、負け　０点））により決めます。

①勝ち点が多い方が上位。

②勝ち点が同じ場合は、該当チームのトーナメント戦により決定します。この場合には、試合時間は２分間とします。

〇決勝トーナメントなどでは、同得点（生き残り数）の場合は、該当するチームが対戦し、最初に相手方をアウトにしたチームを勝者とします。

１１　表　　彰　　優勝（１位）・準優勝（２位）・３位・４位